



今月号では「フードドライブの活用について」を紹介します。
身近な生活の場面でたくさん発生している食品ロスを減らしていくために
フードドライブの活動について確認してみましょう。

食品ロスとは？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

【食品ロスの原因】

- ・消費・賞味期限が切れた食材を廃棄してしまう「直接廃棄」
- ・野菜の皮を食べられる部分まで厚くむいてしまう「過剰除去」
- ・食べきれずに残った食材を廃棄してしまう「食べ残し」



日本でどのくらい発生しているの？

日本では、年間約2,402万トンの食品廃棄物が出ていると推計されています。
そのうち、食品ロスは523万トンにも及びます。(令和4年度に環境省が行った調査より)

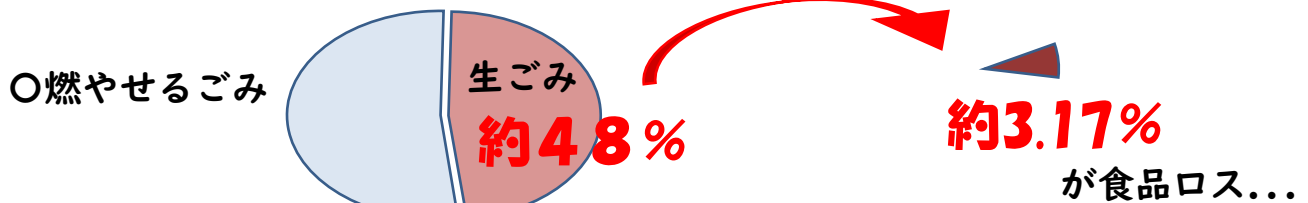
国民一人あたりにすると、**1日約114gお茶碗1杯分**です。

廃棄の内訳では、直接廃棄が15.0%、過剰除去が4.6%、食べ残しが13.7%となっておりま



岩見沢市ではどのくらい発生しているの？

令和4年度に市が燃やせるごみを調査した結果、家庭から出る燃やせるごみの**約48%が生ごみ**でした。そのうち食品ロス分の割合は令和4年度は**3.17%**でした。
令和3年度から改善していますが、コロナ禍以前と比べると高い数値になっています。



環境省で算出した割合値に基づいて岩見沢市の食品ロス量を推計した結果、令和4年度の食品廃棄量(推計)5,349トンに対する食品ロスの割合は**1,781トン**でした。

岩見沢市民一人あたり1日**64g**の食品ロスを行っていることとなります。

身の回りのものでは、**Lサイズの卵1個分**です！

食品廃棄量 (t)		食品ロス割合	推計量 (t)
5,349	直接廃棄	15.0%	802
	過剰除去	4.6%	246
	食べ残し	13.7%	733
	合計	33.3%	1,781



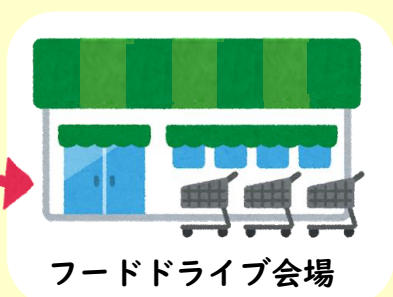
1日64g
たまご
1個分!

フードドライブについて

フードドライブとは、ご家庭で余っている食品を集め、それらをまとめて必要としている団体等に寄付する活動のことです。



各ご家庭で余った食品



フードドライブ会場



提供



必要としている団体等

捨てる前に

フードドライブに取り組んでみませんか？

実施期間

毎月5日～11日（7日間） イオン岩見沢店 1階 食品レジ横

寄贈先

こども食堂げんき

※こども食堂げんきを通じ、食品を必要としている4団体に提供します。



受付できるもの



- ① 未開封のもの
- ② 賞味期限が記載されていて、残り期限が1か月以上あるもの
- ③ 保存方法が要冷蔵・要冷凍でない常温保存のもの
- ④ 製造者または販売者が表示されているもの
- ⑤ 成分表示またはアレルギー表示があるもの

受付できないもの



- ・生鮮食品
- ・手作りの品
- ・冷凍食品
- ・お米券等の金券類
- ・サプリメント
- ・アルコール飲料（みりん・料理酒は除く）

これまでのフードドライブの実績について

2023年

8月 141個
9月 242個
10月 326個
11月 192個
12月 91個

2024年

1月 97個
2月 99個
合計1,188個

2023年8月に開始したフードドライブ活動は、2024年2月までにレトルト食品や缶詰、お菓子など、1,188個の食品が集められています。

さらに多くのフードドライブへのご協力をお待ちしております！

感謝



チェック

Think ECO の
バックナンバーを見ることができます！



【家庭ごみに関するお問い合わせ先】

市役所 市民環境部 廃棄物対策課 ☎：（代表）0126-23-4111（内線2141、2142、2143）
（直通）0126-35-4395